

乙姫城

妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

草刈り作業のお願い

毎年お願いしております城址及び御殿跡の草刈り作業を左記の日程にて行いますのでぜひご協力下さい。

本年は雨が多くほとんど草に埋もれた状況になっていきます。秋のシーズンには多くの方が見学に来られますので、きれいな状態で見たいと思います。

記

日時 十月四日(日)午前八時より

集合場所 妻木城御殿跡看板前

(上郷バイパス沿い)

カマ、ナタ、軍手等をご持参下さい。草刈り機のある方はご協力下さい。

「妻木さんサミット」開催迫る

本年度の重点活動として全国の妻木姓の分布とアンケート調査を実施しました。電話帳により二九〇軒の妻木さんにアンケート用紙を送付しました。現在までに四分

の一方にご返事をいただきました。この数字はこの種の調査では大変高い数字で妻木さんの関心の高さがうかがわれます。

また新史料の発見や多くの情報をいただき妻木氏研究にも有益な調査となりました。

妻木を訪ねて見たいという方々も多く、十月十・十一日に予定しております妻木さんサミットには四十名以上の方が参加されます。

会費納入のお願い

妻木城址の会は会員の皆様の会費によって成り立っています。妻木城の下刈り作業や文化財展の実施などの経費に充てられています。地域住民や妻木城を愛する人の力でこの運動を成功させたいと思いますので、ぜひ会員の継続をお願いいたします。本年度分をまだ納入いただいていない方には振込用紙を同封いたしますのでよろしくお願い致します。

なお行き違い等によりご迷惑をお掛けする場合がありますので宜しくお願い致します。

妻木の文化財展は十一月一日

火縄銃の実演・武者行列

崇禅寺虫干し・八幡神社宝物展・特別展など

詳細は次号にて

妻木という地名をご存じでしたか

全国に「妻木」という地名は、四ヶ所あります。語源は、**つま**（はしを意味する端）と、**き**（場所を意味する）と考えられています。山間のゆきづまりの場所を表しています。妻木・爪木などがあります。

爪木（つまき） 茨城県鹿島郡鹿島町、江戸時代に妻木村と書いた記録が残されています。

妻木（むき） 鳥取県西伯郡大山町、ツマキとも読んだ。もともと六木村（むきむら）であったのが、この地から天皇の女御になられた娘があり、天皇から賜った歌に妻来里（妻の来た里の意味）があり、それにちなんで六木を妻木（妻来が妻木に）にあてたといえます。最近弥生時代の大きな遺跡が発掘され妻木晩田遺跡として有名です。

妻木（さいき） 茨城県新治郡桜村 才木とも書きます。

妻木（つまぎ） そして私たちの町妻木町です。

妻木町は岐阜県の東部に位置する土岐市にあります。妻木氏の居城であった妻木城を中心に発展し、日本一の焼物の産地である美濃焼の中心地として発展した町です。現在城跡や菩提寺、氏神など多くの史跡が残されています。

す。

妻木の姓を調べてみました。

妻木という姓は、電話帳で探してみると二九〇軒程ありました。全国的に広く分布していますが、大部分の県がヒト桁で空白の所もあります。静岡県が飛び抜けて多いのも注目されます。岐阜県は一軒だけで、ご当地妻木町にも土岐市にも妻木さんはお見えになりません。

妻木一族について

妻木氏は、室町時代に美濃の国を治めた土岐氏の一族明智氏を祖とします。明智氏は妻木城を本拠としてこの地方を広く治めますが、次第に勢力を落とし、一族の妻木氏がとって代わります。

明智光秀も一族であるといわれますが詳しいことは分かっていません。しかし光秀の正室（お牧の方）は妻木氏の出身であることが史料からはつきりしており、妻木氏の中から光秀に従った者も多く知られています。細川ガラシャは光秀とお牧の方の娘として有名です。

妻木氏は関ヶ原の戦いに東軍（徳川家康）に味方して、土岐郡九村七五〇〇石の旗本としてこの地方を治めます。美濃焼の生産地は大部分が妻木領内にあり、大いに栄えました。三代で跡継ぎが無く断絶します。

しかし、一族四家が旗本として明治維新まで存続しま

す。それらの家をあげると

上郷妻木氏 妻木村上郷五百石
下郷妻木氏 妻木村下郷や神奈川県などで三千石
上総妻木氏 千葉県や滋賀県などで千石
常陸妻木氏 茨城県内で五百石

この他にも紀州徳川家、加賀前田藩、肥後細川藩、広島池田藩、伊予西条藩、阿波蜂須賀藩、越前松平藩、長州藩などにも藩士として名が残っています。これらのは江戸時代初期に分かれたものと思われま

す。妻木城主に關係する苗字について

今回の妻木さんの調査で約二九〇軒の方にご連絡を差し上げました。電話帳による調査ですので、未記載のお宅があったり同一世帯で複数番号があったりと正確なものではありませんが、概要はある程度推測できると考えます。静岡県が七〇軒あり全体の四分の一を占めます。次が神奈川県の一八軒ですので静岡県は飛び抜けています。

それでは妻木城に關係があると思われる苗字を電話帳で調べてみると、「土岐」さん約三二〇〇軒、「明智」さん二九〇軒、「下石」さん一四〇軒となります。

「土岐」は全国的に広く分布しており、土岐一族の全国的な進出を物語っています。「明智」は妻木城主土岐明智彦九郎を先祖とする姓ですが、明智光秀という偉大な

人物の陰が強すぎて、本家明智氏の認識は低いようです。「下石」は本能寺の変で織田信忠の側近として討死した彦右衛門頼重が知られています。江戸時代には中川氏の家臣として現在まで続いています。下石村の出身と云われますが、残念ながら記録がほとんど残っていません。

..... 通信

妻木一族の本をただ今執筆中です

妻木一族をまとめた書物を出版してほしいという希望が多く寄せられています。残念ながら妻木氏の研究はまだまだ入口ですので、現在まで知られている資料や新発見の資料を基に現段階でのまとめを出版する予定です。ご期待下さい。

妻木城の調査が始まります

昨年に引き続き妻木城跡の基本調査が秋から始まります。発掘説明会等を予定しております

事務局員・調査員のボランティア募集

城址の会の活動はボランティアによって成り立っています。興味ある方お気軽に事務局まで連絡下さい。

妻木の流鏝馬は十月十一日

全国の妻木さん集まれ

岐阜県土岐市にある妻木城址の保護や関連する歴史研究を行っている妻木城址の会（鶴飼金一会長、本部土岐市妻木町）が十月十、十一の両日、全国の妻木姓の人々に呼び掛けた「妻木さんサミット」を土岐市内で開催する。妻木姓は全国的にも本県西部に多いという。同会は「妻木のルーツや歴史を掘り下げる機会にしたい」と参加を募っている。

同会が全国の電話帳を基に調査したところ、全国で二百九十件の登録があることが分かった。地元の

10月10、11日サミット

ルーツをたどろう

岐阜県内が一件だったのに対し、静岡県内は七十件見つかри、このうち二十件は小笠町内だったという。

同会によると、妻木氏の歴史は約四百年前にさかのぼる。室町末期に美濃国を治めた土岐氏の一族、明智氏が祖といわれる。明智光秀の正室、お牧の方は妻木氏の出身だった。関ヶ原の戦いで東軍（徳川方）についた妻木氏は旗本として美濃地方を治めたが、跡継ぎに恵まれず三代で断絶した。

妻木さんサミットなどの問い合わせは妻木城址の会事務局へ電0572(57)6441へ。

サミットは同会が今回初めて企画した。全国に散在する妻木さんが集うことで、中世から近世にかけて妻木氏の歴史的な歩みを探訪するとともに、同姓の親交を深めるのが狙い。妻木城址など同氏ゆかりの地の見学や懇親会を計画している。

同会事務局の黒田正直さんは「妻木姓がなぜ静岡県に多いかは定かでない。サミットを通じて明らかにしたいことを楽しみにしている」と話している。

静岡新聞 8月25日朝刊より